学習・懇談会

主催／住まい・福祉・まちづくりネットワーク

（NPO法人建築ネットワークセンター）

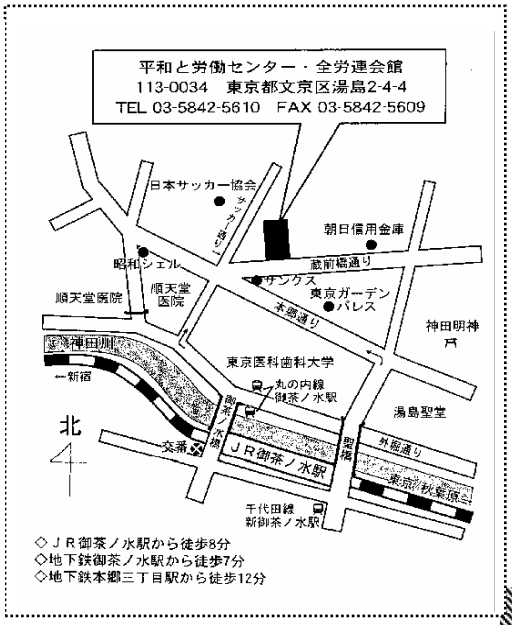
無縁社会から絆社会へ

地域のきずなをどうつくるか

第７回目の「住まい・福祉・まちづくりネットワーク」の勉強会を下記のように企画しました。

今回の企画は、今年の夏におきた、高齢者の所在不明者の問題や熱中症死亡問題などの出来事をとりあげ、その根底や背景、そしてどうしたらいいかを一緒に考えていくものです。根底には、無縁社会の広がりと貧弱な住まい、その背景には、異常な競争社会、格差や貧困、家庭崩壊などがあるのではないでしょうか。

そんな状況のなかで、社会への問題提起をしながら、地域の「きずな」をつくっていくために現実を知り、住みよいまちづくりのため、みなさんと討論していきたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。



●と　き　12月15日（水）

午後6時開場、6時30分開会　（8時45分閉会予定）

●ところ　全労連会館3階会議室（地図参照）

●かいひ　500円（資料代）

●報告

◎無縁社会の現状と課題

鐘ヶ江正志（住まい・福祉・まちづくりネットワーク代表）

◎一人ぼっち高齢者の現状と課題

―安心して住める住まいとコミュニティづくり―

安保幸子（在宅支援相談室新宿所長）

◎人と人のつながりを地域でつくる

―杉並区で継続してとりくむサロン活動と３００人が参加する健康づくり運動―

吉岡尚志（東京西部保健生協専務理事）